

月別市況

1 月

1月の取扱頭数は、牛9,658頭、豚26,540.5頭、1日平均取扱頭数は、牛537頭(前月比83.5%)、豚1,475頭(109.8%)であった。入荷は牛減少、豚は順調。

相場は、消費最盛期の前月だけでなく、前年同月と比べても、和牛、乳牛とも下げた。豚生体(上規格)は、全国出荷頭数(前月比88.1%)も少なく、平均価格は、451円(前月比2円高)とほぼもちあった。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は和牛(A-4)1,715円、乳牛(B-3)1,205円であった。

輸入牛肉は、取扱量54.3トン(前月比82.3%)、セリ上場分は取引なし。平均価格は、885円で前月比273円安であった。

3 月

3月の取扱頭数は、牛11,002頭、豚27,397頭、1日平均取扱頭数は、牛551頭(前月比99.3%)、豚1,370頭(99.9%)であった。

入荷は牛、豚とも横ばい。相場は、末端消費の伸び悩みから和牛、乳牛ともやや下げた。豚生体(上規格)は、年度末決算による手当休止と末端消費の不振から、479円(前月比59円安)と大きく下げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,726円、乳牛(B-3)1,204円であった。

輸入牛肉は、取扱量463.3トン(前月比107.8%)、セリ上場分は取引なし。平均価格は、1,731円で前月比312円高となった。

5 月

5月の取扱頭数は、牛11,400.5頭、豚25,054頭、1日平均取扱頭数は、牛543頭(前月比94.8%)、豚1,193頭(91.4%)であった。

入荷は牛、豚とも減少。相場は、大型連休による行楽出費増とBSE問題で末端消費が伸び悩んだことから、和牛はやや下げた。乳牛はBSEによる輸入牛肉からの代替需要から堅調となった。豚生体(上規格)は、取扱頭数は減少しているものの、末端消費の伸び悩みから、平均価格は、516円(前月比43円安)と下げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,737円、乳牛(B-3)1,196円であった。

輸入牛肉は、取扱量156.4トン(前月比37.6%)、セリ上場分は取引なし。平均価格は、612円で前月比1,068円安となった。

2 月

2月の取扱頭数は、牛11,109頭、豚27,411頭、1日平均取扱頭数は、牛555頭(前月比103.4%)、豚1,371頭(93.0%)であった。

入荷は牛順調、豚は減少。相場は、前月の展開が安値に転じていただけに、和牛、乳牛ともやや上げた。豚生体(上規格)は、セーフガードの実施下で輸入が抑制されていることと、全国肉豚出荷頭数の減少から、平均価格は、538円(前月比87円高)と大きく上げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は和牛(A-4)1,760円、乳牛(B-3)1,208円であった。

輸入牛肉は、取扱量429.8トン(前月比791.5%)、セリ上場分は取引なし。平均価格は、1,419円で前月比534円高であった。

4 月

4月の取扱頭数は、牛12,025頭、豚27,406頭、1日平均取扱頭数は、牛573頭(前月比104.0%)、豚1,305頭(95.3%)であった。

入荷は牛順調、豚は減少。相場は、BSE問題で末端消費は伸び悩んだが、年度替わりによる在庫補充手当が入ったことから、和牛はもちあいたなった。乳牛は輸入物からのシフトを受けて堅調となった。豚生体(上規格)は、国内の出荷頭数の減少や輸入物の市中出回りが少ないことなどから、平均価格は、559円(前月比80円高)と大きく上げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,755円、乳牛(B-3)1,222円であった。

輸入牛肉は、取扱量416.5トン(前月比89.9%)、セリ上場分は取引なし。平均価格は、1,680円で前月比51円安となった。

6 月

6月の取扱頭数は、牛10,577.5頭、豚22,530頭、1日平均取扱頭数は、牛529頭(前月比97.4%)、豚1,127頭(94.5%)であった。

入荷は牛、豚とも減少。相場は、高級物クラスを中心に品薄気味であったことと中元用手当もあって、和牛は前月よりやや上げ、乳牛は堅調であった。豚生体(上規格)は、末端消費の伸び悩みにもかかわらず、出荷頭数の減少から、平均価格は、541円(前月比25円高)と上げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,784円、乳牛(B-3)1,230円であった。

輸入牛肉は、取扱量154.2トン(前月比98.6%)、セリ上場分は取引なし。平均価格は、629円で前月比17円高となった。

7 月

7月の取扱頭数は、牛12,468頭、豚24,036.5頭、1日平均取扱頭数は、牛542頭(前月比102.5%)、豚1,045頭(92.7%)であった。

入荷は牛順調、豚は減少。相場は、病原性大腸菌(O-157)の影響やBSEなどの悪条件にもかかわらず、前月までの相場が例年に比べて極端に安値で推移したことから、和牛は前月よりやや上げ、乳牛は堅調であった。豚生体(上規格)は、O-157による影響から末端消費が牛肉から豚肉へシフトする傾向もあって、平均価格は、571円(前月比30円高)と上げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,764円、乳牛(B-3)1,294円であった。

輸入牛肉は、取扱量216.3トン(前月比140.3%)、セリ上場分は取引なし。平均価格は、603円で前月比9円安となった。

9 月

9月の取扱頭数は、牛11,780頭、豚26,110頭、1日平均取扱頭数は、牛620頭(前月比121.3%)、豚1,374頭(110.6%)であった。

入荷は牛、豚とも順調に増加。相場は、食中毒(病原性大腸菌O-157)の影響が沈静化してきており、量販店などからの引き合いも強くなったことから、和牛、乳牛とも上げた。豚生体(上規格)は、出荷頭数が月央までこの時期としてそれほど多くない頭数で推移したため、中旬まで500円台の水準を保ったが、秋分の連休明け以降、出荷が順調に増えたことから、平均価格は、498円(前月比65円安)と大きく下げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,844円、乳牛(B-3)1,391円であった。

輸入牛肉は、取扱量126.1トン(前月比90.3%)、セリ上場分は取引なし。平均価格は、682円で前月比134円高となった。

11 月

11月の取扱頭数は、牛13,046.5頭、豚29,288頭、1日平均取扱頭数は、牛593頭(前月比97.4%)、豚1,331頭(93.6%)であった。

入荷は牛、豚とも減少。相場は、国産牛志向が以前として強いことに加え、本格的な鍋物シーズンを迎えたことや中旬以降からは例年ほどではないものの歳暮用ギフトの手当が入ったことから、和牛、乳牛ともやや上げた。豚生体(上規格)は、全国出荷出荷頭数が例年に比べると少ない出回りであったが、末端消費が牛肉などに移行したことから、平均価格は、399円(前月比22円安)と大きく下げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,850円、乳牛(B-3)1,349円であった。

輸入牛肉は、取扱量246.6トン(前月比124.9%)、セリ上場分は取引なし。平均価格は、746円で前月比80円高となった。

8 月

8月の取扱頭数は、牛10,210.5頭、豚24,845頭、1日平均取扱頭数は、牛511頭(前月比94.3%)、豚1,242頭(118.9%)であった。

入荷は牛減少、豚は順調。相場は、夏場の需要期に食中毒(病原性大腸菌O-157)の影響から末端消費が伸び悩み、旧盆明け後にはやや消費が回復し、秋口の販促手当が入ったものの、和牛、乳牛ともやや下げた。豚生体(上規格)は、O-157問題で生食の自粛がトンカツ需要などを刺激し、末端消費が牛肉から豚肉へシフトする傾向もあって、平均価格は、563円(前月比8円安)とほぼもちあった。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,771円、乳牛(B-3)1,139円であった。

輸入牛肉は、取扱量139.7トン(前月比64.6%)、セリ上場分は取引なし。平均価格は、548円で前月比55円安となった。

10 月

10月の取扱頭数は、牛13,405.5頭、豚31,276.5頭、1日平均取扱頭数は、牛609頭(前月比98.2%)、豚1,422頭(103.5%)であった。

入荷は牛、豚とも順調に推移した。相場は、O-157の影響が薄らぎ、末端消費の低価格志向で大衆和牛、乳牛などの引き合いは強いものの、秋物生鮮食料品の出回り増もあり、和牛、乳牛とも下げた。豚生体(上規格)は、O-157が沈静化し、量販店が和牛などの販促を展開し、豚肉から牛肉に再シフトしたことから、豚肉高級部位の需要が伸び悩みとなったため、平均価格は、421円(前月比77円安)と大きく下げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,790円、乳牛(B-3)1,334円であった。

輸入牛肉は、取扱量197.4トン(前月比156.5%)、セリ上場分は取引なし。平均価格は、666円で前月比16円安となった。

12 月

12月の取扱頭数は、牛15,495頭、豚30,769.5頭、1日平均取扱頭数は、牛646頭(前月比108.9%)、豚1,282頭(96.3%)であった。

入荷は牛順調、豚は減少。相場は、年末需要の最盛期であり、忘年会や年末用手当で引き合いも強くなったことから、和牛は上げた。一方、乳牛は、需要が和牛にシフトしたこともあって、もちあいたなった。豚生体(上規格)は、年末用手当とともに豚しゃぶなどの末端消費の伸びも影響し、平均価格は、460円(前月比61円高)と大きく上げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,989円、乳牛(B-3)1,376円であった。

輸入牛肉は、取扱量219.1トン(前月比88.8%)、セリ上場分は取引なし。平均価格は、713円で前月比33円安となった。